

客船ターミナル等指定管理者管理運営状況等の二次評価結果

対象施設： 晴海客船ターミナル

指定管理者： 東京港埠頭株式会社

評価対象年度： 令和元年度

項目	評価内容
二次評価	A
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・基本協定、管理運営基準、業務実施計画等に基づき適切に履行されている。 ・客船寄港日数や東京 2020 大会を控えた視察受入れ等の増加への対応に加えて、セキュリティ強化のため警備員及び臨時社員を大幅に増員し、安全かつ快適なサービスを提供した。 ・施設の老朽化に合わせ、当初計画を上回る施設の補修等により安全性を確保するとともに、ボーディングブリッジの緊急離着脱訓練を実施した。 ・外部関係者への一斉メール送信時に個人メールアドレスの漏洩事故があったが、研修の見直しや新たなシステムの導入など、ソフト・ハードの両面から再発防止対策を講じている。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・東京 2020 大会の機運醸成のため、スポーツをテーマにした新たな自主事業「金メダルを目指せ！Speed4」等を実施し、多くの参加者により賑わいを創出した。また、外貨両替機の設置や自動翻訳機器の導入、タクシー誘導など乗客サービスの向上に積極的に取り組んだ。さらに、スタンプクルーズの実施や Google・ツイッターの活用により、利用者にとって魅力ある広報活動等を実施し、賑わいの創出に寄与した。 ・客船の寄港日数が増加する中、船舶代理店や旅行代理店と連携し、動線調整や警備員等の手配を的確に行うとともに、天候等により臨機応変に対応した。また、新型コロナウイルス発生時期の下船において、関係機関と連携し、安全・円滑に対応した。 ・東京 2020 大会関連の選手村視察等が増加する中、ターミナル内の円滑な利用、接遇を行うとともに、都が行う関連工事とターミナル利用との適切な調整を図った。
その他	<p>【その他特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで以上に船舶代理店等と良好な関係を構築し、安全・円滑な客船受入れオペレーションを実施するとともに、施設の魅力向上や賑わい創出を図りながら、テロ対策等の施設の保安強化にも寄与した。 <p>【特命要件の継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な施設管理を行うとともに、東京 2020 大会に向けた各種工事や関連事業等との調整についても、臨機応変に対応している。

客船ターミナル等指定管理者管理運営状況等の二次評価結果

対 象 施 設： 有明客船ターミナル、有明小型船発着所浮棧橋

指 定 管 理 者： 東京港埠頭株式会社

評価対象年度： 令和元年度

項 目	評価内容
二次評価	B
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・基本協定、管理運営基準、業務実施計画等に基づき適切に履行されている。 ・東京都視察船の代替船運航に当たり、消防庁等の関係者と連携し緊急時着岸訓練を開催し、安全強化に取り組んだ。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業運営基準に基づき適正に実施されており、利用者の利便性を考えた管理運営が適切に行われている。東京港見学会や展示会の開催によりターミナルの活性化を図った。 ・定期航路船と不定期航路船の係留調整を実施するとともに、隣接する東京ビッグサイトでのイベント開催に伴う客船ターミナル混雑時には、警備員を増員し安全対策を強化した。また、視察等による施設利用の要望があった際には、きめ細やかな調整を行った。
そ の 他	<p>【その他特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都視察船の代替船運航に当たっての緊急時着岸訓練の開催や舟運活性化に向けた定期航路船と不定期航路船の係留調整、東京ビッグサイトでのイベント開催に伴う客船ターミナル混雑時の安全対策など、都の実施策に協力した。 ・新型コロナウイルスの感染予防対策として、館内消毒液の設置、清掃時におけるドアノブ等の消毒強化に迅速に対応している。 <p>【特命要件の継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な施設管理や積極的な情報収集等を行っており、東京 2020 大会に向けた施設の利用調整等において、柔軟に対応できる体制が整えられている。

客船ターミナル等指定管理者管理運営状況等の二次評価結果

対象施設： 青海客船ターミナル、青海小型船発着所浮棧橋

指定管理者： 東京港埠頭株式会社

評価対象年度： 令和元年度

項目	評価内容
二次評価	B
管理状況	<ul style="list-style-type: none">・基本協定、管理運営基準、業務実施計画等に基づき適切に履行されている。・日常点検・対応処理の記録及び緊急時のマニュアル等が整備され、緊急連絡体制も整っており、適切と認められる。
事業効果	<ul style="list-style-type: none">・業務実施計画に基づき適切に履行されている。・視察等による施設利用の要望があった際には、きめ細やかな調整を行った。また、新客船ふ頭の工事関係者に対し、車両通行や清掃等の調整を行い、施設の安全性確保や都の工事の円滑な実施に寄与した。
その他	<p>【その他特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・新客船ふ頭の工事関係者に対し、車両通行や清掃等の調整を行い、施設の安全性確保や都の工事の円滑な実施に寄与した。・新型コロナウイルスの感染予防対策として、館内消毒液の設置、清掃時におけるドアノブ等の消毒強化に迅速に対応している。 <p>【特命要件の継続】</p> <ul style="list-style-type: none">・安定的な施設管理や積極的な情報収集等を行っており、新客船ターミナル等の整備に伴う施設の利用調整等において、柔軟に対応できる体制が整えられている。

客船ターミナル等指定管理者管理運営状況等の二次評価結果

対象施設： 竹芝客船ターミナル

指定管理者： 東京港埠頭・テレポートセンターグループ

評価対象年度： 令和元年度

項 目	評価内容
二次評価	A
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・基本協定、管理運営基準、業務実施計画等に基づき適切に履行されている。 ・警察署と合同で施設内のパトロールを実施し、施設内の事故防止及び施設の保全に努めた。また、新たな取組として、負傷者を小型船棧橋から避難誘導する訓練や、東京 2020 大会に向けたテロ対策として不審物件が投機された場合の初動訓練等を実施した。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・「ネオ屋台村」におけるネット環境を利用したアンケート等の導入や猛暑対策のメニュー追加、「竹芝夏ふえす&ミュージックフェス」における島の魅力を取り入れた内容により、賑わい創出を実現した。 ・ターミナル内と東京 11 島で Wi-Fi が使えるアプリを新たに導入し、告知ポスターの作成・掲示により周知を図った。 ・「晴海オータムフェスタ」で竹芝客船ターミナルや東京 11 島の紹介パネルの展示及びパンフレットの配付により PR を行った。 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて、伊豆諸島や小笠原航路の乗船前の検温を実施するに当たり、検温場所の提供や運航事業者との調整、告示掲示などにより混乱がないよう協力している。また、都が実施するターミナル改修工事では、利用者等への影響が最小限となるよう、運航事業者やテナント事業者との利用調整を適切に行った。
そ の 他	<p>【その他特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客船ターミナルは、業務施設、商業施設やホテルと一体的な施設となっているため、警察署や消防署も参加していただき、各施設とも連携し、竹芝エリア全体で防火防災訓練を実施している。 ・新型コロナウイルスの感染予防対策として、館内消毒液の設置、清掃時におけるドアノブ等の消毒強化に迅速に対応している。 <p>【特命要件の継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切に管理・調整がなされ、都及び合築建物の事業者、船社などとの各種調整を行い支障なく事業を実施した。

客船ターミナル等指定管理者管理運営状況等の二次評価結果

対象施設： 岸壁・船舶給水施設
 (竹芝ふ頭船舶給水施設外 6 施設)

指定管理者： 東京港埠頭株式会社

評価対象年度： 令和元年度

項 目	評価内容
二次評価	B
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・基本協定、管理運営基準、業務実施計画等に基づき適切に履行されている。 ・施設の老朽化等に伴い安全性や信頼性の向上を図るため、当初計画を大幅に上回る施設の補修等を行った。 ・大規模災害時等を想定した清水の運搬、提供や岸壁給水施設から運搬給水船への給水などの実地訓練を行った。また、東京 2020 大会に向け、竹芝ふ頭や晴海客船ターミナルでのテロ対策訓練に新たに参加し、初動対応や救助活動等に関する訓練を実施した。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを利用した事業広報活動のほかに、船舶代理店等への訪問によるニーズの把握やイベント等を利用したチラシ配布、放水実演の実施により積極的な PR を行った。 ・運搬給水船「すいれん」の不具合発生の際は、関係者と調整しながら、岸壁給水施設への振替、部品の点検・交換、海上試運転を行い、迅速に給水サービスを再開した。 ・晴海ふ頭給水施設の栈橋下給水管の漏水が発覚したため、同場所の全給水管の健全度調査を実施し、その結果に基づき必要な修繕を実施した。
そ の 他	<p>【その他特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害時等を想定した実施訓練をはじめ、東京 2020 大会に向け新たにテロ対策訓練にも参加し、初動対応や救助活動等の訓練を重ねている。また、給水施設の栈橋下給水管全箇所 の健全度調査とその結果による修繕の実施に積極的に取り組んでいる。 <p>【特命要件の継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な施設管理を行うとともに、東京 2020 大会の関連工事との調整についても、臨機応変に対応している。

客船ターミナル等指定管理者管理運営状況等の二次評価結果

対 象 施 設： 公共外貿コンテナふ頭施設等
 （品川ふ頭外貿岸壁外 3 施設及び中央防波堤外側ふ頭棧橋（Y 1））
 指 定 管 理 者： 東京港埠頭株式会社
 評価対象年度： 令和元年度

項 目	評価内容
二次評価	B
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・基本協定、管理運営基準、業務実施計画に基づき適切な管理が行われている。 ・緊急時のマニュアル等が整備され、緊急時対応の訓練も実施されており、防災等への配慮もなされている。 ・ネットワークシステムの情報セキュリティ対策を強化し、研修の強化をはじめ、メール一時保管システム及びチェック機能システムの導入等を実施している。 ・必要な修繕等を行った上で計画額を上回る納付額となっている。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・船舶代理店等と連絡を密にとり、迅速かつ適切に係船調整を行うとともに、効率的な荷役作業となるよう背後施設と定期的に運用している。 ・点検結果を踏まえた適切な維持補修を実施している。また、利用者へのアンケート調査を実施し、要望把握・対応に努めている。 ・利用船舶が増加傾向にある中で、新たな航行安全対策マニュアルの整備による大型船の受入れや隣接バースとの岸壁の相互融通などに適切に対応している。
そ の 他	<p>【その他特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品川ふ頭のコンテナクレーンの入れ替え工事では、利用者からの要望を反映し、工程や工事エリアの調整を十分に行い、同ふ頭全体の利便性を確保しつつ、安全かつ確実に実施した。 ・青海ふ頭の岸壁標識灯カバーについて、岸壁面から出っ張り、綱取り作業時に綱が引っ掛かる恐れがあったため、岸壁面と平らになるような構造のものと交換し、カバー破損と破損に伴う人身被害の事前防止対策を行った。 <p>【特命要件の継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都が所有する対象施設（岸壁・棧橋）と物理的に連続する背後の荷さばき施設（ガントリークレーン・ヤード等）を引き続き所有し、一体的に管理運営できているとともに、外貿コンテナふ頭（岸壁、棧橋・荷さばき施設等）の管理運営実績と活用可能なノウハウを有している。

指定管理者名	東京臨海副都心グループ
--------	-------------

項 目	評 価 内 容	
二 次 評 価	東京都立お台場海浜公園	S
	東京都立シンボルプロムナード公園	S
	東京都立青海中央ふ頭公園	B
	東京都立暁ふ頭公園	B
	東京都立青海緑道公園	B
	東京都立青海北ふ頭公園	B
	東京都立青海南ふ頭公園	B
	東京都立水の広場公園	B
	東京都立有明西ふ頭公園	B
	東京都立東八潮緑道公園	
	東京都立フェリーふ頭公園	
	東京都立有明北緑道公園	B
管 理 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・園路の除草や樹木の剪定、花壇の手入れ等の園地管理を充実させ、来園者が快適に過ごせる環境づくりに努めた。 ・お台場海浜公園では、東京2020大会の大規模な整備の影響を受ける中、掲示物の多言語化や、工事の事業者にはバリアフリーに留意して園路を確保するよう指導することによって、利用者への適切な案内・誘導が行われ、利便性が確保できた。 	
事 業 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・お台場海浜公園では、海水浴や地元ヨット部の水域利用など、地元の公園利用に協力し、近隣住民等の愛好者や支持者を獲得しており、利用者の満足度も高い。 ・シンボルプロムナード公園では、造園・園芸団体や近隣企業、学生等との協働事業で、四季を通じて公園を彩る「花と緑のおもてなしプロジェクト」を実施し、地元の愛好者や支援者を獲得している。 	
そ の 他	<p>【特命要件の継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨海副都心の公園は、MICE・国際観光拠点化の推進や東京2020大会との連携など都の政策との連動性及び管理運営の特殊性を有しており、選定当時から施設の位置付けは変わっていない。 ・東京臨海副都心グループは、都及び関係機関等と連携し、都の政策と連動したイベント等の開催による賑わいの創出及び東京2020大会の成功に向けた調整など、団体の特性を十分に発揮し、適切に事業を実施している。 <p>【その他特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海上公園のホームページ「海上公園なび」について、新たにゆりかもめのドアに広告を掲出した結果、アクセスが約14%増加した。また、東京2020大会の整備による通行規制等について、ホームページや臨海副都心マップの情報を適時更新し、利用者への適切な周知を行った。 ・シンボルプロムナード公園では、無許可営業の警戒強化や、違法駐輪への貼り紙の実施など、秩序維持のための規制に取り組んだ。 	

指定管理者名	東京港埠頭株式会社
--------	-----------

項 目	評 価 内 容	
二 次 評 価	東京都立辰巳の森海浜公園	B
	東京都立晴海ふ頭公園	
	東京都立春海橋公園	B
	東京都立辰巳の森緑道公園	B
	東京都立夢の島緑道公園	B
	東京都立新木場緑道公園	B
	東京都立新木場公園	B
管 理 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・辰巳の森海浜公園は、東京2020大会に向けた整備工事の状況に合わせ、利用者との調整を適切に行った。また、ラグビーワールドカップ2019の練習会場指定による利用規制にあたって、関係団体や周辺施設の利用者との調整を適切に行った。 ・新木場公園は、バーベキュー広場の利用者が前年度から約1割増加し、違法駐車や騒音などの問題が発生しやすい状況となっていたが、常駐スタッフ等が声かけや巡回を行い来園者が安心して利用できるよう適切に対応した。 	
事 業 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・辰巳の森緑道公園は、令和元年度新たに近隣住民と協働して桜並木の後継樹づくりの活動を行い、樹勢の衰退が見られる一部の桜に健全度調査を実施して植替え作業を行った。 ・新木場公園は、バーベキュー広場において、利用者ニーズに応じた食材提供の新規メニューの追加など、満足度の向上に取り組んでいる。 	
そ の 他	<p>【特命要件の継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部地区においては、辰巳の森海浜公園にはアクアティクスセンター、晴海ふ頭公園周辺には選手村関連施設が整備されるなど、東京2020大会との連携が必要であり、選定当時から施設の位置付けは変わっていない。 ・東京港埠頭株式会社は、都及び関係機関等と連携し、東京2020大会に向けた施設整備への対応を適切に実施している。 <p>【その他特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・辰巳の森海浜公園・辰巳の森緑道公園では、東京2020大会に向けた整備や都発注の公園整備工事により、施設の利用休止や園路の一部閉鎖が行われたが、都や組織委員会との連携を密にして、近隣住民や関係団体からの問い合わせや要望に適切に対応し、大きな苦情やトラブルは発生しなかった。 ・新木場公園では、利用促進のため新たにファミリー向けイベント「リアル謎解き脱出ゲーム」を企画・実施したが、参加者数が目標1,000人のところ18名に留まっているため、内容の見直しや新たな取組に期待したい。 	

指定管理者名	若洲シーサイドパークグループ
--------	----------------

項目	評価内容	
二次評価	東京都立若洲海浜公園	S
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフリンクスでは、建物管理について、組織目標に美化の徹底を掲げ、1日の清掃回数を倍増し、チェックシートにて清掃状況も確認するなど、利用環境を向上させた。また、最新乗用刈込機を導入するなど、芝のコンディションを効率的に維持することで、営業日数をほぼ上限である346日に設定できている。 ・海釣り施設・関連園地では、台風被害により関東近郊の他の海釣り施設が閉鎖となった際、新規の釣り客が急増して混雑したが、巡回強化や、SNSを活用した情報発信により、利用者間のトラブル防止に努めた。 	
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフリンクスでは、利用者ニーズの高い手軽なセルフプレーについて、従来はセルフデー（全組セルフプレー）のみ実施可能であったが、セルフデー以外の日においても、コースセッティングやタイムテーブルの設定を工夫し、プレー時間を高度にコントロールしたことで時間限定で実施可能とした。 ・また、ゴルフ初心者向けのレッスン会を新たに始め、参加者から高評価を得ており、若年層や女性等の新たな利用者層の獲得に努めている。 ・海釣り施設・関連園地では、多彩な釣りイベントを実施しているほか、園内全体を使った宝探しゲームなど、来園者が楽しめる様々な取組を行っている。 ・これらの取り組みにより、全ての項目において利用者からの評価が高かった。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフリンクスでは、シーサイドコースに相応しい景観づくりを目指し、眺望を意識した剪定を行っているほか、国内では珍しいソッドウォールバンカーを新たに整備して、利用者から好評を得ている。 ・海釣り施設・関連園地では、釣りを楽しめる環境づくりとして、企業や団体と連携した環境美化活動を行っているほか、1万尾のカサゴの稚魚を放流している。また、SNSを用いて釣果や混雑状況の情報発信を積極的に行っている。 ・東京2020大会の関連施設が公園内に整備されるため、関係者との打合せや現地調査を行い、スケジュール調整や電気・水道の使用に関するルール作りに取り組んだ。 ・ゴルフリンクスの利用者数が新型コロナウイルス感染症対策による休場等で前年度から約10%減少したにもかかわらず、一般来園者等が増加し、全体の入園者数は前年度から約3%増加した。 ・ゴルフリンクスが新型コロナウイルス感染症対策で都の要請により休場したが、速やかに予約者1,415組に休場の案内を連絡し、大きな苦情やトラブルもなく適切に対応した。 	

指定管理者名	東京港野鳥公園グループ
--------	-------------

項目	評価内容	
二次評価	東京都立東京港野鳥公園	S
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・都の基準を上回るトイレの清掃や草刈りなどを行っており、良好な環境を維持している。 ・野鳥に関する質問を受けるなど、利用者との対応が多く発生するが、アンケート評価は4段階で「受付スタッフの対応」が平均3.8、「レンジャー・ボランティアスタッフの対応」が平均3.7と高い。また、来園者の要望や苦情に対して、実現可能なものは速やかに実施するなど、丁寧に対応している。 	
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年5月から年間パスポートの運用を開始し、1,047枚を販売した結果、前年度から来園者数は10%増加し、利用者収入も約7%増加した。 ・ホームページをリニューアルし、前日レンジャーが確認した野鳥を紹介するコンテンツを新たに始めてアクセス数が1.8倍に増加した。また、デジタルサイネージを新たに設置し、園内の案内のほか、野鳥やイベントの情報を表示し、利用者から好評を得ている。 ・これらの取り組みにより、利用者から高い満足度が得られている。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・来園者数は前年度から約10%増加し、過去3か年平均からも約16%増加している。なお、利用料金収入も前年度から約7%増加した。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、注意喚起看板と手指消毒剤の設置や、双眼鏡の貸出中止などの対応を適切に行った。 ・都のプラスチック削減の取組と連携し、利用者向けのマイボトル給水機を新たに設置した。 	

指定管理者名	アメニス海上南部地区グループ
--------	----------------

項 目	評 価 内 容	
二 次 評 価	東京都立大井ふ頭中央海浜公園	A
	東京都立城南島海浜公園	A
	東京都立品川北ふ頭公園	B
	東京都立コンテナふ頭公園	B
	東京都立みなとが丘ふ頭公園	B
	東京都立東海ふ頭公園	B
	東京都立京浜島ふ頭公園	B
	東京都立城南島ふ頭公園	B
	東京都立京浜島つばさ公園	B
	東京都立京浜運河緑道公園	B
	東京都立大井ふ頭緑道公園	B
	東京都立東海緑道公園	B
	東京都立京浜島緑道公園	B
	東京都立城南島緑道公園	B
	東京都立芝浦南ふ頭公園	B
管 理 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・各公園の特性を踏まえた植物の維持管理の計画を策定しており、限られた経費の中で効率的に利用者が安全・快適に過ごせる公園づくりを行っている。令和元年度は京浜島つばさ公園と京浜運河緑道公園を重点管理公園とし、利用ニーズの高いエリアを集中して剪定するなどの取組を行った。 ・大井ふ頭中央海浜公園では、東京2020大会の大規模な整備とテストイベントが実施される中、利用者目線で関係者と適切に協議し、利用者の動線確保と誘導を円滑に行ったことで、大きな苦情やトラブルが発生しなかった。 ・城南島海浜公園では、全体の来園者数が過去3か年平均から約4%増加、前年度の来園者数からも約7%増加したため、適切に対応すべく、トイレ清掃を水準の約2倍（週3回程度のところ週6回程度）行った。 	
事 業 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・大井ふ頭中央海浜公園では、スポーツ施設の利用時間を都の基準以上に拡充し、早朝や夜間の時間帯も利用できることで、幅広い都民ニーズに対応させている。 ・また、森林や水辺の自然を活かしたイベントを多数実施しており、近隣住民をはじめ来訪者に親しまれる公園づくりに努めている。 ・京浜運河緑道公園では、NPO法人や地元の学校と連携し、護岸への菜の花の種蒔きやキャンドルナイトのイベントを行っており、近隣住民等に親しまれている。 	
そ の 他	<p>【特命要件の継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南部地区においては、大井ふ頭中央海浜公園にホッケー競技場が整備されるため、東京2020大会との連携が必要であり、選定当時から施設の位置付けは変わっていない。 ・アメニス海上南部地区グループは、都及び関係機関等と連携し、東京2020大会に向けた施設整備への対応を適切に実施している。 <p>【その他特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大井ふ頭中央海浜公園では、東京2020大会に向けて、都や組織委員会等と多くの打合せを行い、綿密な調整を行った。令和元年度は会場整備が本格化し、園路の通行制限や有料施設の出入口変更など影響が広範囲だったが、事前に適切な周知を行うことで、大きな苦情やトラブルが発生しなかった。また、テストイベントの実施においても、都及び組織委員会等との連携を密にして利用者の安全確保に取り組んだ。 	

指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会
--------	---------------

項 目	評 価 内 容	
二 次 評 価	東京都立葛西海浜公園	B
管 理 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・渚橋の老朽化した水道管から漏水が発生し、西なぎさへの水道供給ができなくなったが、都への報告を速やかに行い、漏水の原因調査と補修方法の検討・提案がなされた。さらに、職員が給水タンクを手運びして利用者が手を洗うための水を用意するなど、利用者への対応も適切に行った。 ・海水浴体験の実施に当たり、アカエイ駆除や海底清掃など、利用者が安心して利用できる環境づくりに取り組んでいる。 	
事 業 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の観察・学習イベントを実施し、ラムサール条約登録湿地である豊かな干潟環境の普及啓発に取り組んでいる。 ・海水浴体験の期間中に、地元NPO団体と連携した「里海まつり」や海苔すき体験を実施し、文化の継承に取り組んでいる。 ・7月の長雨による利用者の減少など天候の要因もあるが、来園者数は前年度から約1%減少し、過去3か年平均からも約8%減少している。 	
そ の 他	<p>【特命要件の継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葛西海浜公園は、隣接する東京都建設局所管の葛西臨海公園を通してアクセスする公園であり、葛西臨海公園と一体的に管理をする方が効率的かつ効果的であり、選定当時から施設の位置付けは変わっていない。 ・公益財団法人東京都公園協会は、葛西臨海公園との一体管理による維持管理業務の効率化、サービスの向上が展開されている。 <p>【その他特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやSNSを活用し、イベントの情報発信を行っている。また、園内の放送やリーフレットを多言語化しており、外国人利用者の利便性が向上している。 ・東京2020大会のカヌー・スラローム会場に隣接することから、カヌー体験イベントを実施して機運の醸成を図っている。 	

漁港施設の指定管理者に係る二次評価

○施設名：二見漁港岸壁外9施設

○指定管理者名：小笠原島漁業協同組合（特命）

○指定期間：平成28年4月1日から令和3年3月31日まで

○特記事項：利用料金制

○令和元年度評価結果：下表のとおり

項目	評価内容
二次評価	B
管理状況	<ul style="list-style-type: none">施設の清掃、警備等が適正に行われている。漁港管理条例等法令の遵守が徹底されている。度重なる大型台風の発生に対しても、巡回、被害点検及び清掃を迅速に行い、施設内の安全確保に努めている。
事業効果	<ul style="list-style-type: none">利用者案内の作成、配布を初め、施設の適正利用についての周知が行われ、漁港機能との共存が図られている。利用者ニーズを把握するためのアンケートを実施し、昨年度より回収率を上げている。また、利用者の声に基づき施設の利便性向上に努めた結果、利用者の約9割が満足と回答している。

空港の指定管理者に係る二次評価

○施設 名：東京都八丈島空港

○指定管理者名：八丈島空港ターミナルビル株式会社（特命）

○指定期間：平成28年4月1日から令和3年3月31日まで

○平成31（令和元）年度評価結果：下表のとおり

項目	評価内容
二次評価	B
管理状況	<ul style="list-style-type: none">・年間事業計画のとおり実施されており、適切に管理が行われている。特に、路面剥離防止対策について創意工夫が見られる。・個人情報保護の取扱い、管理、適正管理のための研修等を適切に実施している。・自主点検で立入管理に係る台帳の整理が不十分とされる事例も見受けられたが、速やかに改善されている。
事業効果	<ul style="list-style-type: none">・ホームページを活用した空港の情報発信を行い、利用促進を図るとともに、空の日イベント・空港見学会などの取組を積極的に行うことで、空港への理解促進に努めている。